

WE'RE FOR CREATORS™



2021年12月期（第39期）

# 決算説明会

2022年2月18日

株式会社ズーム

zoom®



We're For Creators



I. 2021年12月期 決算

対前年比で大幅な増収増益（過去最高を更新）

## 2021年12月期連結業績

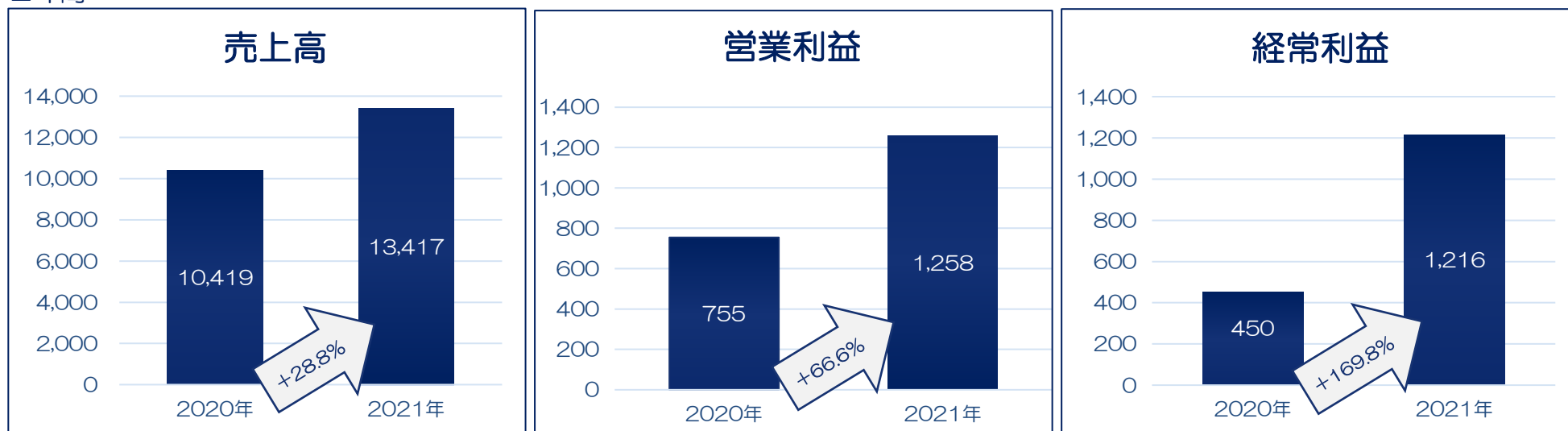
**売上高** : 13,417百万円（前年比 +2,998百万円、業績予想比 +3.2%）  
**営業利益** : 1,258百万円（前年比 +503百万円、業績予想比 +11.4%）  
**経常利益** : 1,216百万円（前年比 +765百万円、業績予想比 +13.7%）

※業績予想は2021年8月12日に開示した数値

- ・コロナ禍におけるライフスタイルの変化により当社製品に対する需要が堅調であることに加え、株式会社フックアップ（以下、フックアップ）を連結子会社化したことにより、増収増益
- ・第3次中期経営計画（2021-2023）の業績目標である連結営業利益12億円を初年度で達成

■年間

（百万円）





# 2021年12月期 連結損益計算書（要約）



（百万円）

	2020.12期 実績	2021.12期 実績	増減額	摘要
売上高	10,419	13,417	2,998	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当社製品への需要が堅調</li> <li>・半導体部品について必要最低限の数量を確保</li> <li>・フックアップの連結により売上高1,098百万円増</li> </ul>
売上総利益 (売上総利益率)	4,288 (41.2%)	5,704 (42.5%)	1,416	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円安効果及び一部製品の値上により売上総利益率改善</li> </ul>
営業利益 (売上高営業利益率)	755 (7.2%)	1,258 (9.4%)	503	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フックアップの連結により営業利益75百万円増</li> </ul>
経常利益 (売上高経常利益率)	450 (4.3%)	1,216 (9.1%)	765	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年は、ZOOM UK Distribution LTD（以下、ZUK）による倒産法に基づくAdministrationの申請により、持分法による投資損失240百万円を計上</li> </ul>
親会社株主に帰属する当期純利益 (売上高当期純利益率)	502 (4.8%)	854 (6.4%)	351	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年は、ZOOM North America, LLC（以下、ZNA）の連結子会社化に伴う、段階取得に係る差益178百万円を特別利益に計上</li> </ul>
EBITDA	823	1,666	843	EBITDA＝営業利益＋※減価償却費＋持分法投資損益
減価償却費 研究開発費 為替差損益	※315 1,071 ▲20	※408 1,331 ▲7	92 259 13	※のれん償却額181百万円（前年115百万円）を含む
平均為替レート（円／米ドル）	106.8円	109.8円	+3.0円	

Other(その他、Mogar取り扱いブランド、HUP取り扱いブランド)

UAC-2



iQ7



ZDM-1PMP



Mogar取り扱いブランド

HUP取り扱いブランド

Handy Video Recorder



**Q2n-4K**

ミュージシャンのための  
高音質4Kカメラ

Professional Field Recorder



**F6**

様々な撮影現場で、大音量から極めて  
静かな音まで最高のクオリティで歪み  
なく録音可能なフィールドレコーダー

Multi Effector



**G1X-FOUR**

ギターの表現力を大幅に広げる  
エクスペッションペダルを装  
備したマルチエフェクター

Handy Audio Recorder



**H6 BLACK**

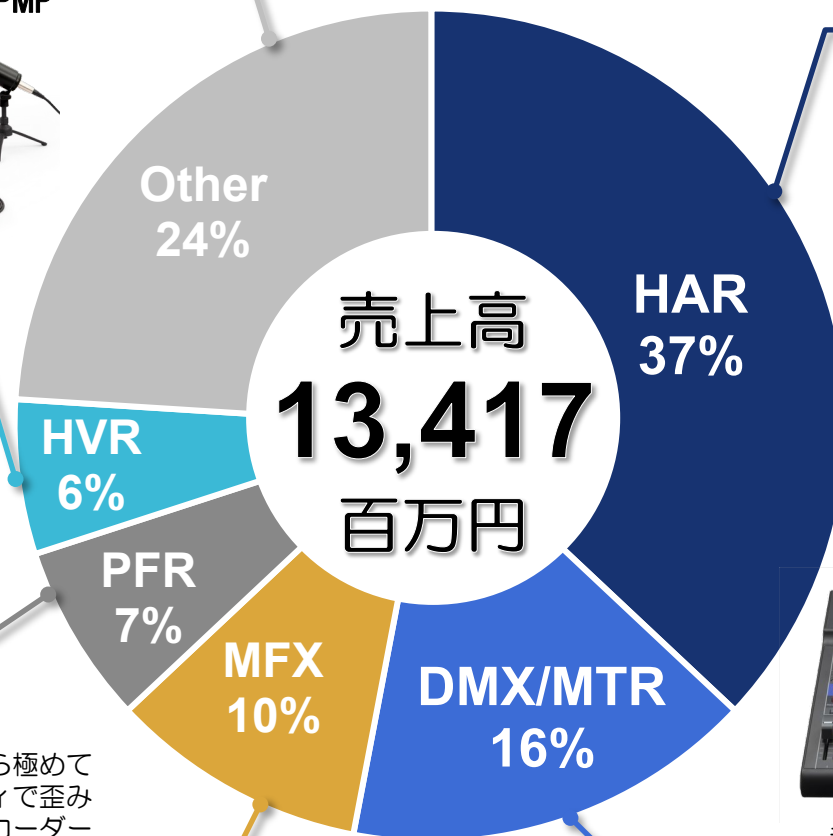
6種類の交換マイクカプセルで、ポッドキャスティングから音楽、映像プロダクションなど、いつでも頼りになるプロ音質のハンディレコーダー



**L-8**

音質の良さはもちろん、BGMを流したり、電話出演のゲストを招き入れたり、ポッドキャスト番組の収録やライブ演奏のミキシングが手軽に行えるライブミキサー&レコーダー

Digital Mixer / Multi Track Recorder



売上高  
**13,417**  
百万円

※2021年12月期実績

## レコーダーやデジタルミキサーの需要が堅調に推移

(百万円)

	2020.12期 実績	2021.12期 実績	増減額	売上高の増減要因
ハンディオーディオレコーダー (HAR)	4,496	4,933	436	<ul style="list-style-type: none"> <li>引続き堅調な需要</li> <li>前年下期発売H8の新製品効果</li> <li>サプライヤー工場火災の対応が順調に進み生産に大きな影響無し</li> </ul>
デジタルミキサー/マルチトラックレコーダー (DMX/MTR)	1,371	2,203	831	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声配信市場の拡大により、ポットキャスト収録に適したPシリーズ、ライブストリーミングやレコーディング用途としてのLシリーズの販売が増加</li> </ul>
マルチエフェクター ※1 (MFX)	1,118	1,289	171	<ul style="list-style-type: none"> <li>G1X Fourの販売が好調</li> <li>前年下期発売G6の新製品効果</li> </ul>
プロフェッショナルフィールドレコーダー (PFR)	680	968	288	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋外での活動が再開されつつあることから需要が回復傾向</li> <li>前年下期発売F2及びF2-BTの新製品効果</li> </ul>
ハンディビデオレコーダー (HVR)	1,028	819	▲209	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年は新型コロナウイルス感染拡大に伴うテレワーク浸透により、Web会議目的等での需要の急増があったことによる反動減</li> </ul>
その他 ※1	1,032	1,278	245	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポッドキャスト用マイクバックZUM-2PMPの新製品効果</li> <li>ボーカル用エフェクトプロセッサV3の新製品効果</li> </ul>
Mogar取扱いブランド	691	827	135	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワクチン接種の普及による経済活動の正常化により需要が回復</li> </ul>
フックアップ取扱いブランド	-	1,098	1,098	<ul style="list-style-type: none"> <li>フックアップの損益計算書を当期より連結</li> <li>同社が取扱う当社以外のブランドの製品売上を計上</li> </ul>
合計	10,419	13,417	2,998	

※1. 前連結会計年度までマルチエフェクターに含めて開示していた当社のボーカル用エフェクトプロセッサ（V3及びV6）については、別カテゴリー（その他）に組み替えております。

## ZNAとフックアップの連結子会社化により北米及び日本の売上高が大幅増

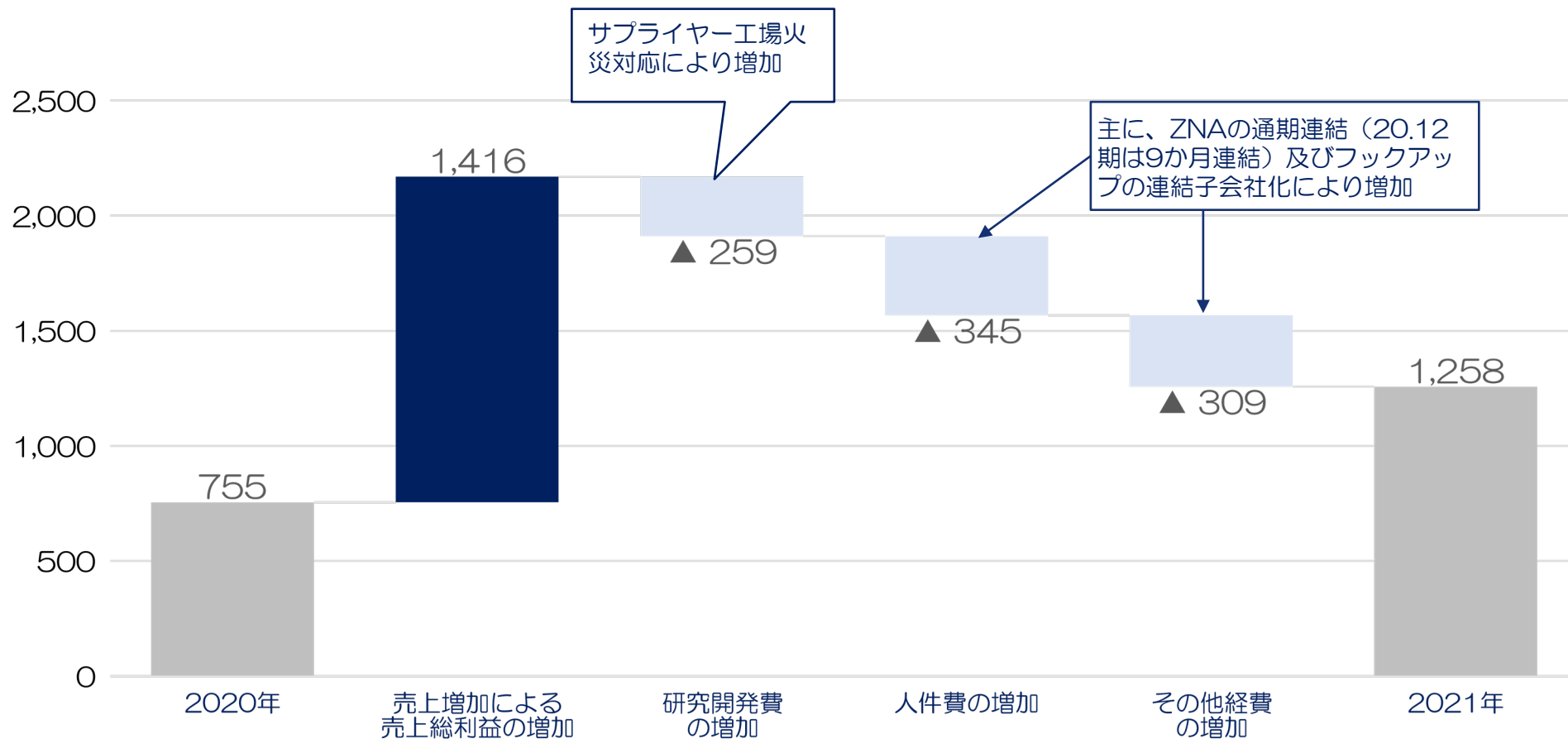
(百万円)

	2020.12期 実績 (シェア)	2021.12期 実績 (シェア)	増減額	売上高の増減要因
北 米	4,305 (41%)	5,241 (39%)	936	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ZNAを2020年度は9か月連結（2020年4月買収）</li> <li>・ コロナ禍におけるライフスタイルの変化により当社製品への需要が堅調</li> <li>・ 特にHAR及び音声配信用途でのDMXが好調。MFXではG1XFourがヒット</li> </ul>
南ヨーロッパ※1	1,744 (17%)	2,097 (16%)	353	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前年のロックダウンから経済活動の正常化により需要が回復</li> <li>・ ネット通販経由販売が伸張</li> </ul>
中央ヨーロッパ※2	1,524 (14%)	1,945 (14%)	420	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北米と同様の傾向</li> <li>・ イギリス向けの販売は前年のZUKの倒産法申請による売上減の反動増</li> </ul>
日 本	927 (9%)	1,940 (14%)	1,013	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フックアップ連結による売上増1,098百万円</li> <li>・ HVR等一部の製品に巣ごもり消費の反動減有り</li> </ul>
中 国	286 (3%)	315 (2%)	29	
その他	1,631 (16%)	1,877 (15%)	245	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロシア+80、台湾+75、UAE+62</li> </ul>
合計	10,419	13,417	2,998	

※1. 南ヨーロッパは、イタリア、フランス、スペイン、ポルトガルを含む地域

※2. 中央ヨーロッパは、ドイツ、イギリス、ベネルクス3国、オーストリア、ポーランド、チェコ、スロバキア、バルト3国等を含む地域

## 営業利益の増減分析（百万円）





# 2021年12月期 連結貸借対照表（要約）



（百万円）

	20.12期末	21.12期末	増減額	主な増減要因
<b>流動資産</b>	7,661	8,035	373	
現預金	2,731	2,067	▲663	フックアップ株式及び自己株式の取得による支出
売掛金	1,658	1,950	291	フックアップの連結子会社化
商品及び製品	2,516	2,963	447	フックアップの連結子会社化
<b>固定資産</b>	2,536	2,794	258	
有形固定資産	526	548	21	
無形固定資産	1,393	1,476	83	フックアップの子会社化に伴うのれん87百万円増加
投資その他の資産	616	769	153	繰延税金資産が78百万円増加
<b>資産合計</b>	10,198	10,829	631	
<b>流動負債</b>	3,883	3,675	▲208	
買掛金	1,133	1,000	▲132	半導体不足による生産委託工場からの仕入減
短期借入金	1,601	1,346	▲254	運転資金目的の借入金を一部返済
<b>固定負債</b>	1,177	1,242	64	
<b>負債合計</b>	5,061	4,917	▲144	
<b>資本金</b>	212	212	—	
<b>純資産合計</b>	5,136	5,911	775	当期純利益計上等による利益剰余金の増加682百万円
<b>負債純資産合計</b>	10,198	10,829	631	

(百万円)

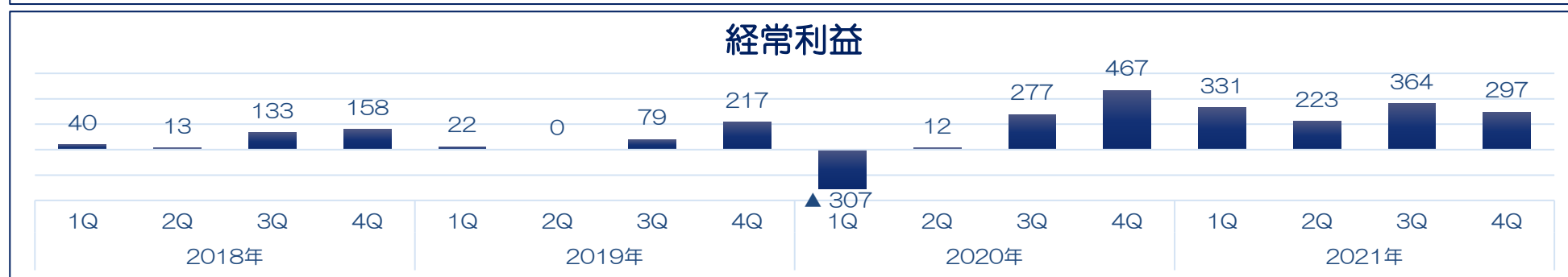
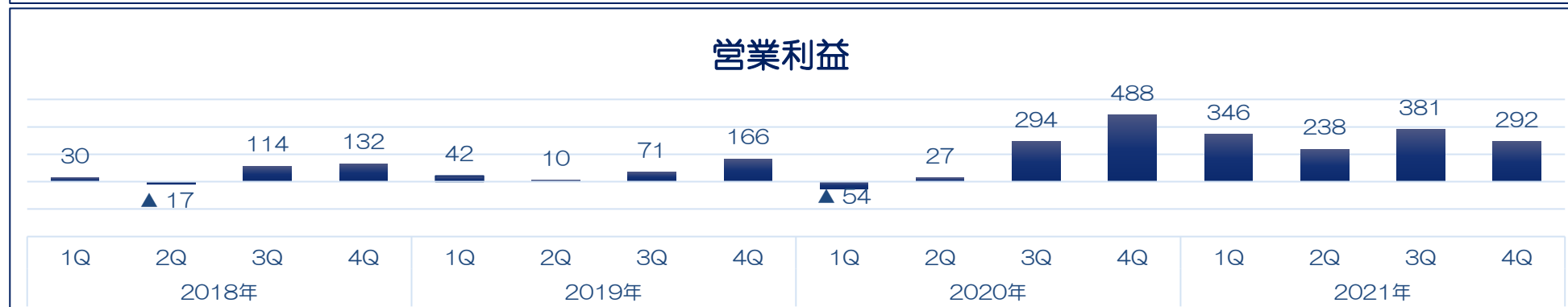
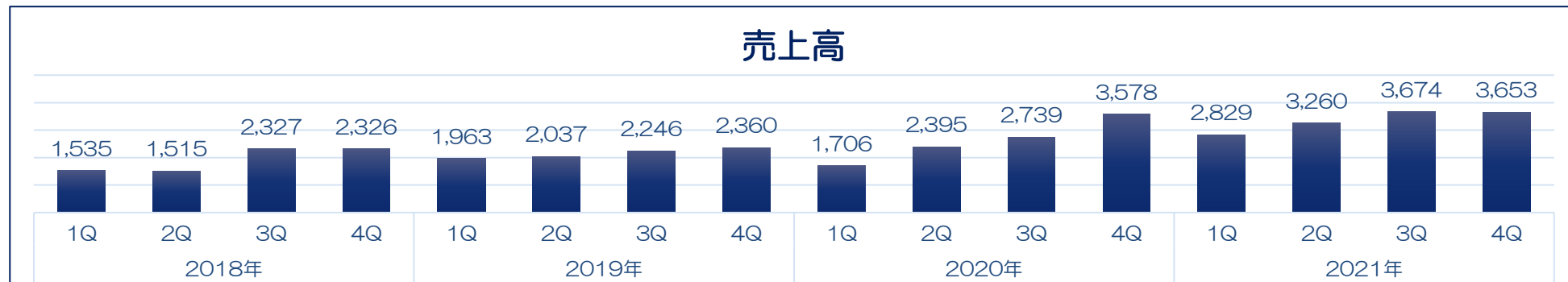
	20.12期 実績	21.12期 実績	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	990	637	▲353
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,269	▲478	791
財務活動によるキャッシュ・フロー	716	▲937	▲1,653
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲51	113	165
現金及び現金同等物の増減額	384	▲664	▲1,049
現金及び現金同等物の期首残高	2,312	2,697	384
現金及び現金同等物の期末残高	2,697	2,032	▲664

## ■ 2021年12月期のキャッシュ・フロー（CF）増減要因（百万円）

- ・ 営業活動によるCFの主な要因：税金等調整前当期純利益1,216／仕入債務減少▲370
- ・ 投資活動によるCFの主な要因：連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出▲285
- ・ 財務活動によるCFの主な要因：自己株式の取得による支出▲426／短期借入金の純減額▲380

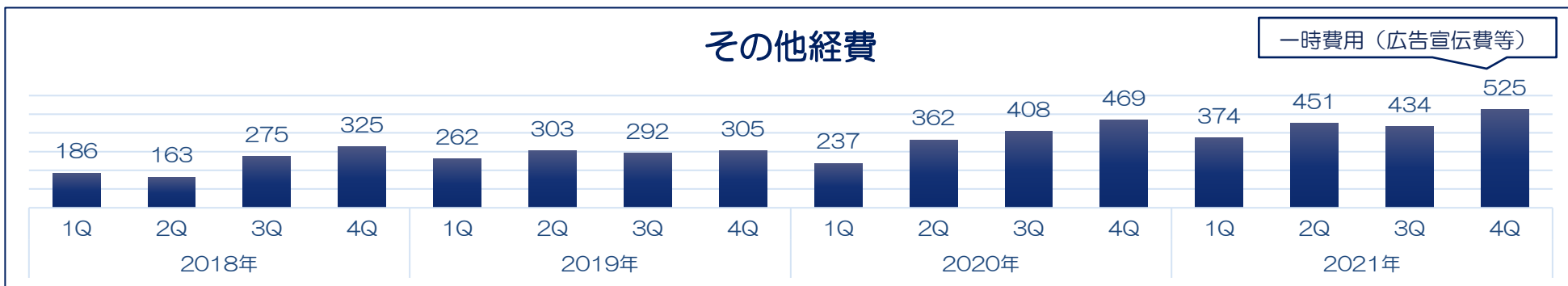
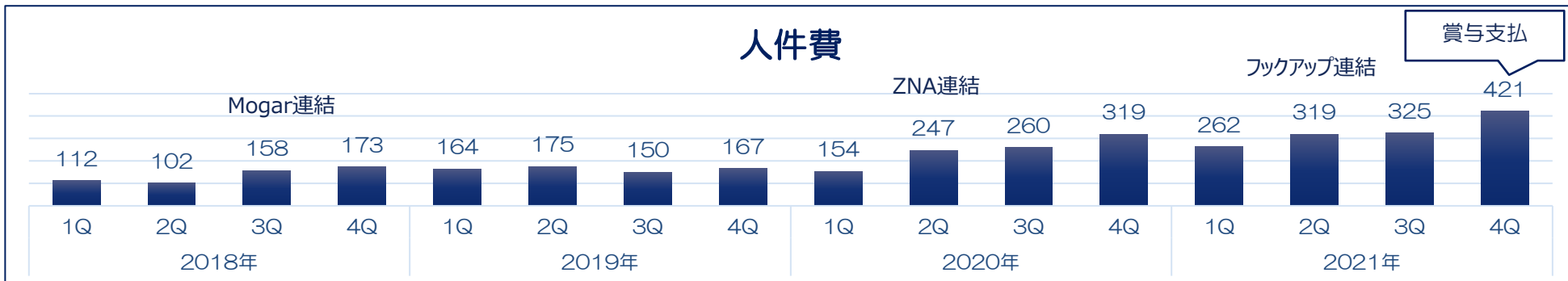
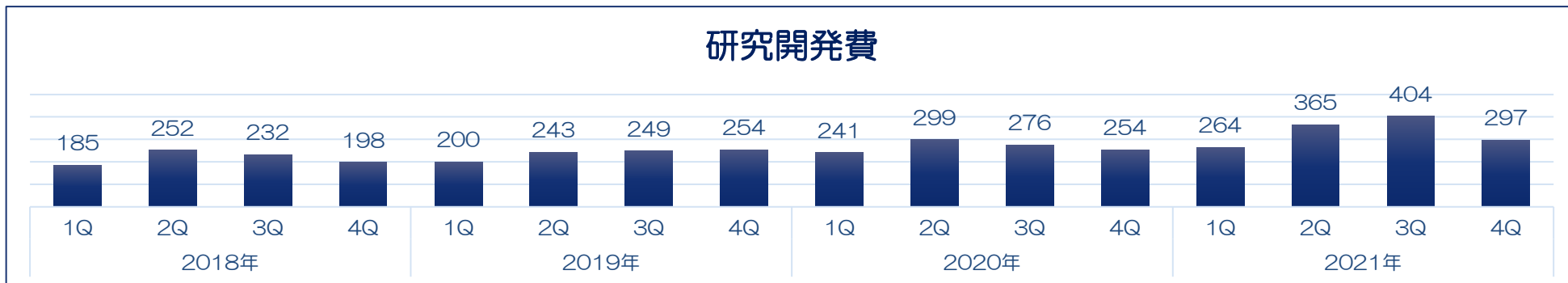
# 2021年12月期及び過去3年間の四半期業績推移①

(百万円)



**売上及び利益は4Qに向けて増加する傾向であるが、当4Qにおいては半導体不足が影響**

(百万円)



サプライヤー工場火災対応による新製品開発日程変更により当期の研究開発費は3Qがピーク



年間配当につきましては、1株当たり102円といたします。（直近の予想通り）

配当につきましては、株主の皆様への利益還元を重要な課題と認識しており、事業年度ごとの利益の状況、将来の事業展開などを勘案しつつ、安定した配当を維持するとともに株主の皆様への利益還元に努め、配当性向30%前後を目安に安定的な配当を実施する方針としております。

上記方針を踏まえて、当期の年間配当額は1株当たり102円を予定しております。次期につきましては、親会社株主に帰属する当期純利益は400百万円と当期比で大幅に減少する見込みではありますが、当該減益は半導体不足に伴う一時的なものと考えており、安定的な配当を維持するため、次期の年間配当額を1株当たり50円とする予定です。

配当の状況	20.12期（実績）	21.12期（実績）	22.12期（予想）
親会社株主に帰属する当期純利益	502百万円	854百万円	400百万円
配当金総額	138百万円	（予定）218百万円	215百万円
1株当たり年間配当	62円 （分割考慮後 31円）	（予定）102円 （分割考慮後 51円）	50円

当社は、2022年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、2020年12月期及び2021年12月期につきましては当該株式分割前の株式数に基づく記載を、2022年12月期（予想）につきましては当該分割後の株式数に基づく記載をしております。

We're For Creators



Ⅱ. 2022年12月期 予想

減収及び減益を予想。特に上期は対前年同期比で売上が大きく減少する見込み。

- ・2022年上期は半導体の供給不足により必要数量の7-8割の生産にとどまる見込み
  - ・2022年下期は回復を見込むも2022年度末に受注残を解消しきれないと予想
  - ・売上総利益率は部品価格の上昇及び円高に振れるリスクを見込み、保守的に前年比1.7ポイント悪化と想定
  - ・フックアップは決算期変更により15ヶ月分の損益を取込み（2021年12月期は9ヶ月分）
- (百万円)

	21.12期 実績	22.12期		
		予想	増減額	増減率
売上高	13,417	13,000	▲417	▲3.1%
営業利益	1,258	700	▲558	▲44.4%
経常利益	1,216	650	▲566	▲46.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	854	400	▲454	▲53.2%
EBITDA	1,666	1,110	▲556	▲33.4%
一株当たり当期純利益	199.56円	92.87円	▲106.69円	▲53.5%
一株配当	102円 (分割考慮後 51円)	50円	—	—
配当性向	25.6%	53.8%	—	—
為替レート (円/米ドル)	109.8円	108.0円	—	—

当社は、2022年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。一株当たり当期純利益につきましては、当該分割後の株式数に基づく記載をしております。なお、一株配当につきましては、2021年は分割前の、2022年は分割後の株式数に基づく記載をそれぞれ行っております。

※ 為替感応度（為替相場の変動が年間利益に与える影響）：1円の円高（円安）で営業利益が約27百万円減少（増加）



# 2022年12月期 連結カテゴリー別売上予想



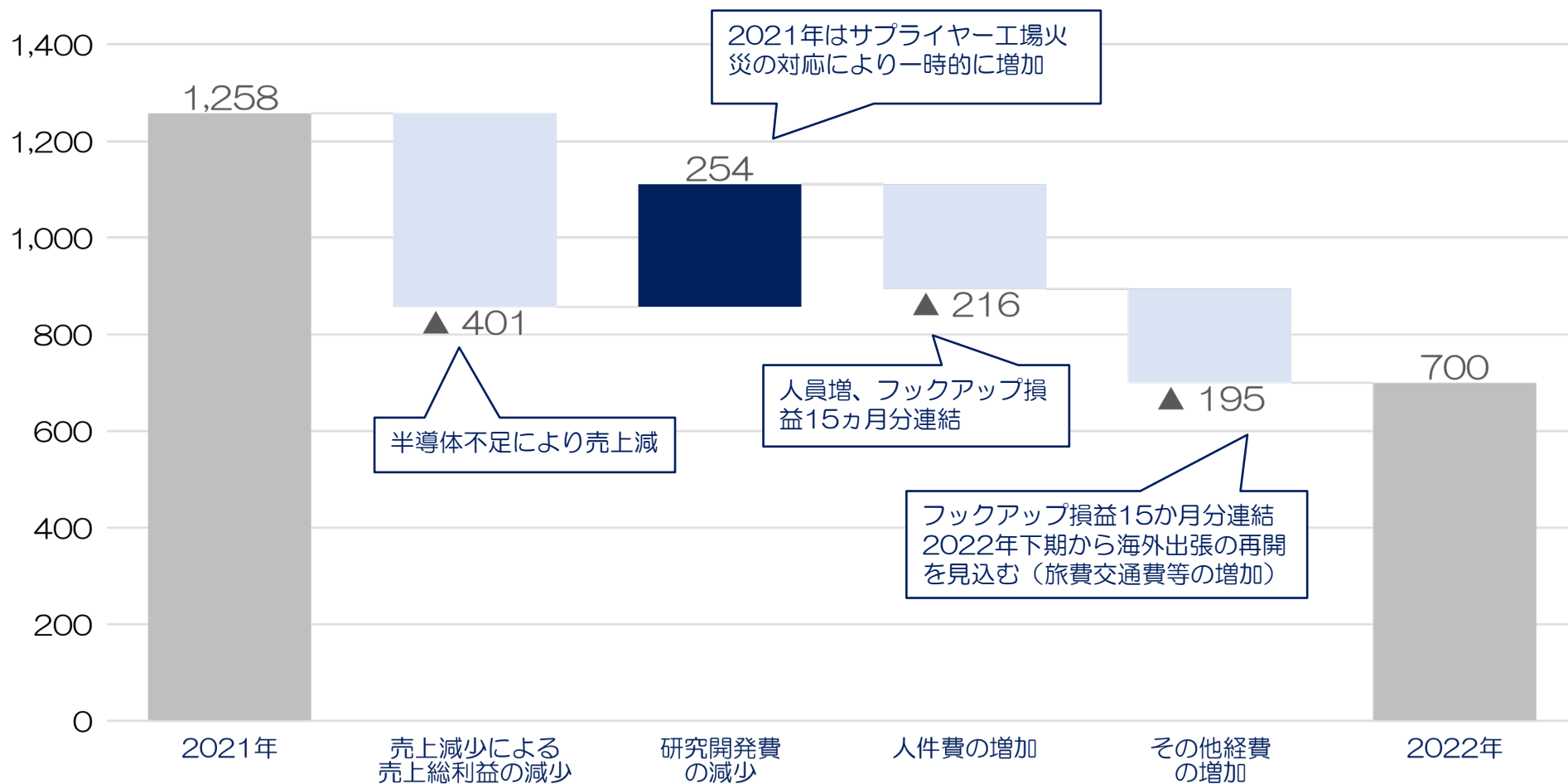
- 各カテゴリーの売上高は減少を予想するも新製品効果が期待されるカテゴリー（PFR/その他）は増加を予想
- フックアップ取扱いブランドは決算変更により15か月分の売上（20.12期は9か月分を連結）

(百万円)

	21.12期 実績	22.12期		
		予想	増減額	増減率
ハンディオーディオレコーダー (HAR)	4,933	3,884	▲1,049	▲21.3%
デジタルミキサー／マルチトラックレコーダー (DMX/MTR)	2,203	2,013	▲190	▲8.6%
プロフェッショナルフィールドレコーダー (PFR)	968	1,231	+262	+27.1%
マルチエフェクター (MFX)	1,289	1,123	▲166	▲12.9%
ハンディビデオレコーダー (HVR)	819	635	▲183	▲22.3%
その他	1,278	1,361	+83	+6.5%
Mogar取扱いブランド	827	808	▲18	▲2.2%
フックアップ取扱いブランド	1,098	1,942	+844	+76.9%
合計	13,417	13,000	▲417	▲3.1%



## 営業利益の増減分析（百万円）



## 需要ベースの連結業績予想との比較

- 需要ベース（生産に支障が無いと仮定した場合）では、売上・利益ともに前年比増加の見込み  
※売上総利益率は前年並みを想定（売上総利益率の高い北米向け売上増加、部品価格の上昇は限定的と想定）
- 半導体不足による2022年12月期の売上高減少額は約15億円と見込む

(百万円)

	21.12期 実績	22.12期 需要ベース		22.12期業績予想			23.12期 中計目標
		予想	対前年比 増減率	予想	対需要ベース 増減額	増減率	
売上高	13,417	14,500	+8.1%	13,000	▲1,500	▲10.3%	15,000
営業利益	1,258	1,520	+20.8%	700	▲820	▲53.9%	1,200
経常利益	1,216	1,470	+20.8%	650	▲820	▲55.8%	—
親会社株主に帰属する当期純利益	854	990	+15.9%	400	▲590	▲59.6%	—

We're For Creators



Chiara Luzzana  
Award-winning soundtrack composer



Ⅲ. 新製品と中期経営計画の進捗

## マルチエフェクター (MFX)

### B6 Bass Multi-Effects Processor

発売開始：2021年10月

販売実績：2021年10-12月 1,400台 市場想定価格：54,900円（税込）



- 世界初要素： 本体に切り替え可能なダイレクトボックスのモデリングを搭載
- ターゲットクリエイター：プロのベーシスト／コンポーザー／ベース上級者
- コストパフォーマンス： 他社製マルチエフェクター、ダイレクトボックス、切り替え用のラインセレクターで同等の性能を再現した場合に比べ、そのコストは1/3程度
- 解決する課題： 2台のベースを使い分ける際の複雑なセッティングを解消し、フットスイッチによる簡単な入力切り替えが可能

※販売実績は、株式会社ズーム単体の数値です。



## デジタルミキサー／マルチトラックレコーダー (DMX)

# R20

## Multi Track Recorder

発売開始：2021年11月

販売実績：2021年11-12月 1,000台 市場想定価格：49,800円（税込）



- 世界初要素： 本体スクリーン上で録音データを指先操作で編集できるマルチトラックレコーダー
- ターゲットクリエイター： 自宅録音で曲を完成させたいシンガーソングライターやスタジオの一発録りで曲を完成させたいバンド
- コストパフォーマンス： タブレット端末と専用アプリ、他社製品のオーディオインターフェースとコントローラーを使用して同等の性能を再現した場合と比べ、そのコストは1/4程度
- 解決する課題： タブレット端末やPC、専用アプリを所持していなくても本体のみで楽曲の録音、編集から完成までをシンプルに行える

※販売実績は、株式会社ズーム単体の数値です。

## ハンディビデオレコーダー (HVR)

# Q8n-4K

## Handy Video Recorder

発売開始：2021年12月

販売実績：2021年12月 100台

市場想定価格：46,000円（税込）



- 世界初要素： 4K画質の動画撮影とシーンに合わせた8種類の別売マイクカプセルの使い分けが可能
- ターゲットクリエイター：シンガーソングライター／バンド／映像作家／YouTuber
- コストパフォーマンス： 他社製4KカメラとXYマイク、外部マイク入力用プリアンプで同等の性能を再現した場合に比べ、そのコストは1/3程度
- 解決する課題： 4K画質且つ、高音質な動画撮影に必要とされた大きな機材の運搬や機材同士の複雑な接続を解消

※販売実績は、株式会社ズーム単体の数値です。

## プロフェッショナルフィールドレコーダー (PFR)

### F3 2-Channel Field Recorder

発売開始：2022年1月

販売実績：2022年1月 100台

市場想定価格：35,100円（税込）



- 世界初要素： 録音入力レベル調整不要（32bit Float録音）でマイクを2本接続可能な世界最小業務用フィールドレコーダー
- ターゲットクリエイター：映像作家／サウンドデザイナー
- コストパフォーマンス： 他社同等品に比べ、価格は1/6程度
- 解決する課題： 録音時に音割れなどを招くゲイン調整ミスや持ち運びの手間を解消

※販売実績は、株式会社ズーム単体の数値です。

## ポッドキャストマイクパック (MIC)

### **ZDM-1PMP**      **PODCAST MICPACK**

発売開始：2020年8月

販売実績：2021年1-12月 33,000台

市場想定価格：13,000円（税込）



## ダイナミックマイクロフォン (MIC)

### **ZDM-1**      **DYNAMIC VOCAL MICROPHONE**

発売開始：2020年10月

販売実績：2021年1-12月 8,000台

市場想定価格：8,000円（税込）



## USBポッドキャストマイクパック (MIC)

### **ZUM-2PMP**      **USB PODCAST MICPACK**

発売開始：2021年5月

販売実績：2021年5-12月 12,000台

市場想定価格：15,400円（税込）



## ヘッドフォン (アクセサリ)

### **ZHP-1**      **PROFESSIONAL CLOSED-BACK HEADPHONES**

発売開始：2021年6月

販売実績：2021年6-12月 3,000台

市場想定価格：5,000円（税込）



※販売実績は、株式会社ズーム単体の数値です。



## ヘッドフォンアンプ (アクセサリ)

### **ZHA-4**      **Headphone Amplifier**

発売開始：2021年7月

販売実績：2021年7-12月   5,000台

市場想定価格：US\$85.00



## USBマイクロフォン (MIC)

### **ZUM-2**      **USB MICROPHONE**

発売開始：2021年8月

販売実績：2021年8-12月   4,000台

市場想定価格：15,600円 (税込)



## チューナー/メトロノーム (アクセサリ)

### **ZTM-1**      **TUNER/METRONOME**

発売開始：2021年12月

販売実績：2021年12月   800台

市場想定価格：2,500円 (税込)

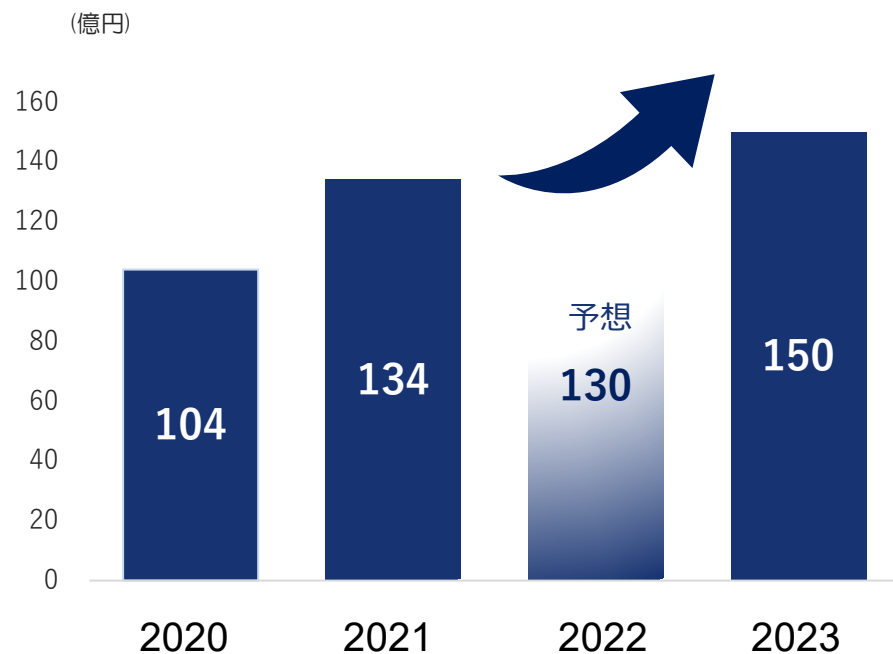


※販売実績は、株式会社ズーム単体の数値です。

## 業績目標

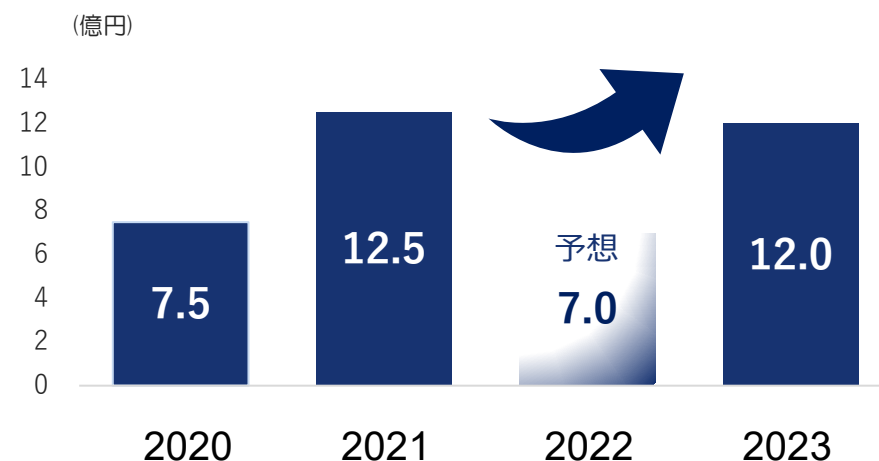
2023年 連結売上高 **150億円**  
(当初計画)

- 最終年度である2023年に連結売上高150億円を目標（2021年実績は134億円）



2023年 連結営業利益 **12億円**  
(当初計画)

- 最終年度である2023年に連結営業利益12億円を目標（2021年実績は12.5億円）



## 重点戦略

### 1 We're For Creatorsによるブランディング強化

- オンラインユーザー登録と3年延長保証を導入
- ZOOMロゴ入りT-shirtを作成・販売開始
- Amazonスポンサー広告の開始

### 2 中核事業関連多角化

- 音楽との直接的な関係が薄いもののポッドキャスト向け専用商品を展開
- 今後もストリーミングを新たなトレンドとして検討
- 「H3-VR」に使用された技術で特許を取得（特許取得数：8件）2021年12月時点
- OEMを活用した製品の拡充（発売機種数：5機種）2021年12月時点

### 3 中間層向けの商品の拡充

- 市場における中心価格帯は1万円前後から20万円まで  
※2021年度開発製品の最も高い市場想定価格は「B6」の¥54,900、最も安い市場想定価格は「F3」の¥35,100

### 4 リスクマネジメント

- 部品サプライヤーの火災事故への対処を完遂し、売上への影響を最小限にとどめる
- 今後は半導体不足の対処に取り組む
- 中国以外の生産拠点を増やし可能な機種から段階的に生産を移管する

### 5 職務習慣病の治療

- 営業部門にバイスプレジデントを新規採用（2021年8月）
- 開発部門に2名のバイスプレジデント職を新設、同時に完全プロジェクト制組織に改編（2021年4月）

## 利益配分

- （社員） 譲渡制限付き株式付与制度を2021年4月に導入
- （執行役員） 年俸制及び譲渡制限付き株式付与制度を2021年4月に導入
- （顧客） 新製品のコストパフォーマンスを参照
- （販売店） 年間取引額100万円以下の国内取引先11社との契約を終了（2021年12月時点）
- （地球環境） アメリカ子会社のメンバーを含めて、ESGコミッティーを2021年10月から毎月開催

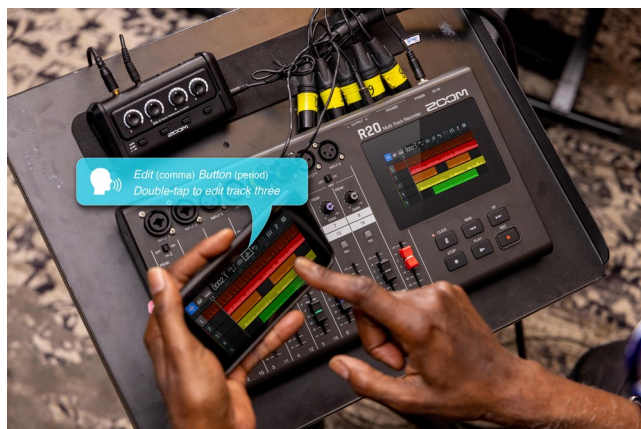
全てのステークホルダーへの適正な利益配分

社員	会社の成長と社員の収入が直接リンクする制度を導入
執行役員	貢献度に応じたインセンティブを報酬に加える
顧客	競合他社製品よりも圧倒的に優れたコストパフォーマンスを約束
株主	投機目的ではない中長期保有の株主を優遇する制度を導入
工場	根拠に基づいたコストダウンでWin-Winの関係を構築
代理店	市場のテリトリを厳正に管理する施策により逸失利益を最小化
販売店	チャンネルマネジメントにより不当・過当な競争を排除
地域社会	公益的なNPOを設立して会社と社員・役員の属する地域に貢献
地球環境	製品の性能向上による省エネルギー化や廃棄物削減で環境負荷を軽減



## SDGs

経営規範5カ条の② ・ ・ ESG、SDGsに應分のコストを負担する。



## アクセシビリティ\*対応

- 「B6」や「R20」のリモートコントロールアプリがアクセシビリティに対応
- iOSの読み上げ機能（VoiceOver）を利用
- 視覚障害者も製品の操作が可能

\* アクセシビリティ・・・「どんな人でも使えるように意識する」、「使いやすいように工夫する」という意味で使用されます。

## ESG

経営規範5カ条の②・・・ ESG、SDGsに宍分のコストを負担する。

### 環境対応：梱包改革

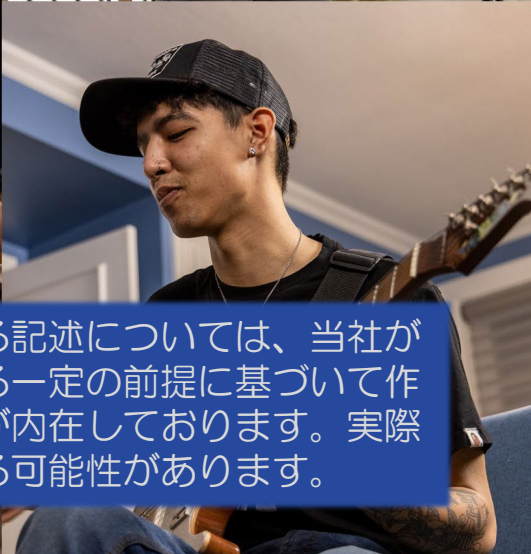
- 過剰な包装を止め輸送用途に特化する
  - フルカラー印刷を止め段ボール素材にモノクロ印刷にする
  - 石油由来の材料は一切使わない
  - 全ての紙素材は再生紙を使用する
  - 過剰包装とフルカラー印刷をやめたコストで、環境にやさしい材料選ぴが可能
- 
- 対象：2022年の新製品から段階的に実施
  - 期限：2023年末の新製品で完全実施



中計の完遂により100年ブランドを確立



# We're For Creators



（ご注意）本資料の将来の見通しに関する記述については、当社が現在入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいて作成しており、潜在的なリスクや不確実性が内在しております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。